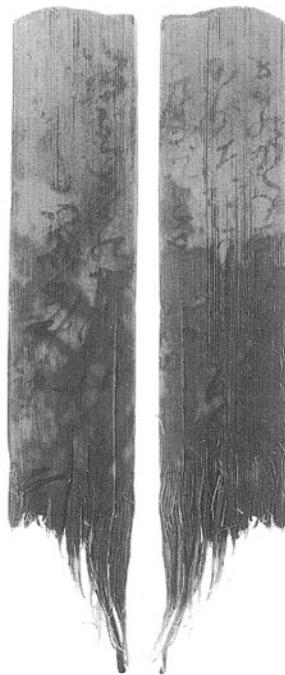


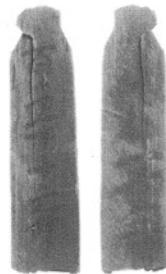
2003年出土の木簡



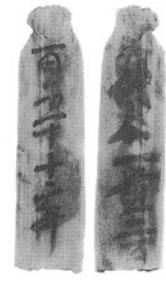
(1)赤外線デジタル写真



(1)



(2)



(2)赤外線デジタル写真

木片の調達環境と木簡

『大宰府史跡出土木簡概報（二）』一二三号木簡下部の左側には枝が生えている。側面は曲面を呈し、樹皮をはいで多少の調整を加え、面取りをして平坦面を作つたと考えられる。

「木簡＝板材」が普通だが、書写的材料の木片は、木片調達状況に応じて多様であろう。造営工事などの木片が豊富な都城と、地方官衙では状況は異なる。地域による書寫材料の調達方法の違いにも注目する必要がある。

なお、本稿は科学研究費補助金基盤研究S（「推論機能を有する木簡など出土文字資料の文字自動認識システムの開発」研究代表者・渡辺晃宏）の成果の一部である。



（酒井芳司・馬場 基）